

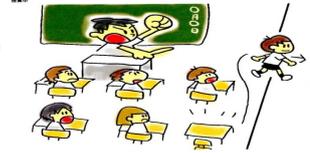
# 特別支援教育だより

No4

さくら市立氏家小学校

令和6年12月18日

今回は、「発達障害」と関わり方のポイントを紹介します。得意なことや特性を生かした関わり方がイメージできると思います。



## 【自閉スペクトラム症】

「他の人たちとの社会的な関わりやコミュニケーションをとることが困難」であったり、「急な変化への対応」が難しかったり、「こだわりをもった行動」をしたりします。視覚的理解力に優れています。

「初めてする行動に不安や苦痛を抱える」ことが多かったり、「人の表情や目を見て、相手の気持ちや考えを読み取ることが苦手」だったり、「批判や否定的な言い方（「どうしてできないの」「してはいけません」）に敏感なうえ、いやなことが忘れられず、つらい思いで過ごす」人もいます。得意なこととして、「法則性のある作業」「同じことを繰り返すこと」等があります。

## 【注意欠陥多動性障害（AD/HD）もしくは注意欠陥多動症】

「注意や集中を適切にすることが困難」であったり、「興味・関心が移りやすく、落ち着いて物事に取り組むことが苦手」であったり、「欲求のままに行動」したりすることが多くあります。感性が豊かで、得意なことには、集中して取り組みます。すばらしい才能を発揮します。



## 【学習障害（LD）もしくは限局性学習症】

知的能力が「部分的に」遅れている状態を言います。知的能力として「聞く、話す、読む、書く、計算する、推理する」などがありますが、これらのうち一つ以上の遅れや困難が見られます。得意なことに、優れた力を発揮します。

### 〈関わり方のポイント例〉

#### （1）分かりやすく伝える

- ・一度に伝える内容を少なくして、分かりやすい表現で簡潔にゆっくり伝える。
- ・言葉だけではなく、視覚的な手がかりを一緒に与える。

#### （2）ルールを知らせる

- ・曖昧な指示や遠回しな言い方をさけ、「～しよう」とはっきり伝える。

#### （3）興味のあることやこだわりを生かす

- ・興味があること、好きなことを生かすような工夫をし、ほめて、成功体験をたくさん積む。